

# ことば村ニュース



2019年11月

「ことば村ニュース」はイベント会場で配布しています。HPでもご覧いただけます。

台風の影響が続き各地の被害が伝えられています。みなさまにはお変わり無くいらっしゃいますか。2月のシンポジウムの準備も進んでおります。これからの活動、どうぞご予定ください。

## ●ことばのサロン

### ★11月のサロン「イラン・イスラム共和国理解のためにーテヘラン下町のホセインの追悼儀礼から」

話題提供：谷憲一先生（一橋大学大学院）

日時：11月16日（土）午後2時～4時30分 会場：慶應義塾大学三田キャンパス 441 教室

最近のニュースの焦点のひとつ、イラン・イスラム共和国。世俗化の進む中、確固として残るイスラムの伝統。テヘランを中心にフィールドワークを重ねた谷先生がその社会に迫ります。

### ★12月のサロン「ある外交官 OB のつぶやきーローマ法王とバチカン」

話題提供：上野景文先生（元杏林大学客員教授／元バチカン全権大使・メルボルン総領事）

日時：12月21日（土）午後2時～4時30分 会場：慶應義塾大学三田キャンパス 441 教室

上野先生は7月に続く登壇。元バチカン全権大使のご経験を踏まえ、第266代ローマ教皇フランシスコの11月23日～26日の来日に合せバチカンとローマ法王についてお話を聞きます。乞うご期待！

### ★2020年1月のサロン「ヨーロッパのちいさなことば・フランコプロヴァンス語について（仮）」

話題提供：佐野彩（上智大学ほか非常勤講師・地球ことば村運営委員）

日時：2020年1月11日（土）午後2時～4時30分 会場：慶應義塾大学三田キャンパス教室予定

ヨーロッパの少数話者言語・フランコプロヴァンス語について、長年現地調査を重ねた佐野先生の実験的成果の発表です。ことば村の運営委員でもあり、これまでイベントで言語復興運動の動画も提供してくれています。2020年の年明け、どんなサロンになるか楽しみです。

## ●今年度シンポジウムの準備着々と

2020年2月22日（土）、「海を越えて日本語の中で生きる人たち」シンポジウムは日本に暮らし、母語ではない日本語で活動している方々を迎え、二言語の狭間で見えてくることばの面白さ、奥深さを考えます。二言語を使う職業に携わるパネリストに登壇交渉中。2月は例年目黒国際交流フェスティバルに参加していましたが、今回は参加を見送り、このシンポジウムに専念します。オリンピックの年、多言語の間に生きる人々がよく訪れるはず。おもてなしのヒントがきっと！

## ●「日本の童話」スペイン語版・ポルトガル語版の広がり。

3月末に改訂版が出版されたポルトガル語版「日本の童話」は、ブラジル人労働者支援センターを通じて220セットがブラジル各地の必要とするところに贈られ、国内の小中学校からも、増加するブラジル人の子どもたちに役立てたいと希望が相次いでいます。まだ在庫がありますので、このほか活用して下さるところをぜひお知らせください。送料のみご負担いただきますが、本誌・DVDはご希望の冊数を贈呈いたします。

### ★ホームページに正会員投稿欄に原稿をお寄せください！

▼正会員投稿欄がホームページに設置されています！日本や世界のことばと文化について [info@chikyukotobamura.org](mailto:info@chikyukotobamura.org) へお寄せください。みんなで活動を盛り上げて行きましょう！

▼会員の稲垣徹さん寄稿「世界の文字」紙や樹皮など書写媒体について、興味深いエッセイがスタート。

[http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing\\_systems.html](http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing_systems.html)

▼運営委員の柴田賢さん、佐野彩さんがそれぞれ留学先のことばに関する現地エッセイを寄稿中。

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131030.html>

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131124.html>

## ★ことば村ホームページ

<http://www.chikyukotobamura.org/>

## ★メールマガジン配信中！

毎月盛りだくさんの内容でお届け中。申込はー

<http://www.mag2.com/m/0000199577.html>